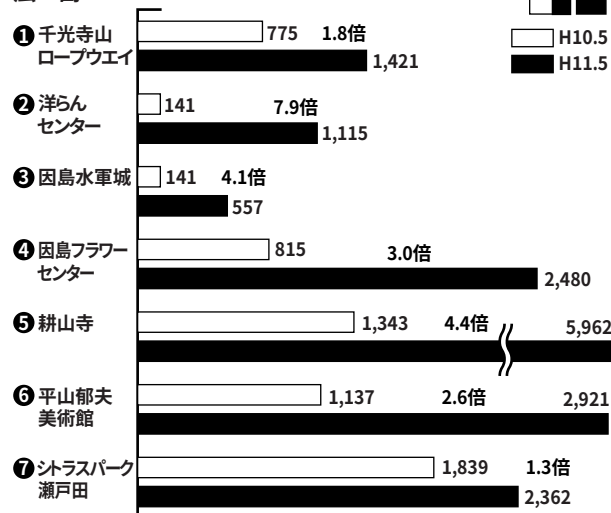


瀬戸内しまなみ海道の開通によって中四国の交流が活発化

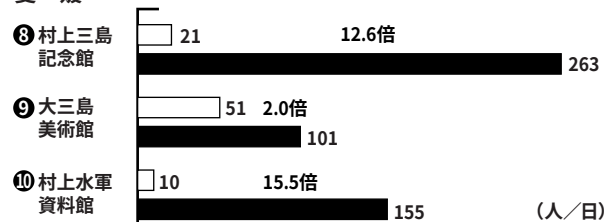
沿線の観光関係施設の利用者数が大幅に増加
 ・本州と四国間の交通の円滑化を図り、中四国の発展に寄与している瀬戸内しまなみ海道は、昭和50年12月に工事着手し、平成11年5月1日に架橋部は全線開通。
 ・架橋部が全線開通したことにより、交通量が著しく増加。
 ・沿線の主な観光関係施設の利用者数が広島県側で平均約3倍、愛媛県側で平均約6倍と大幅に増加。

●沿線の主な観光関係施設の利用者数の推移

広島



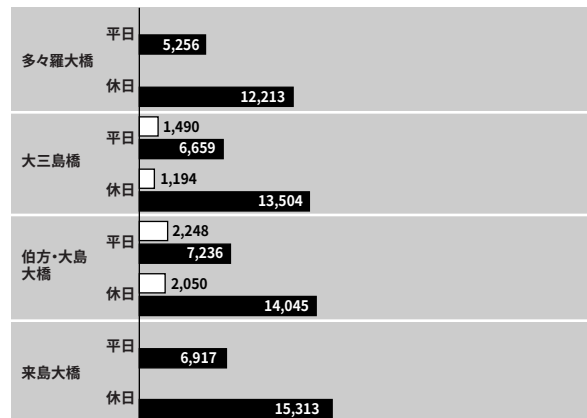
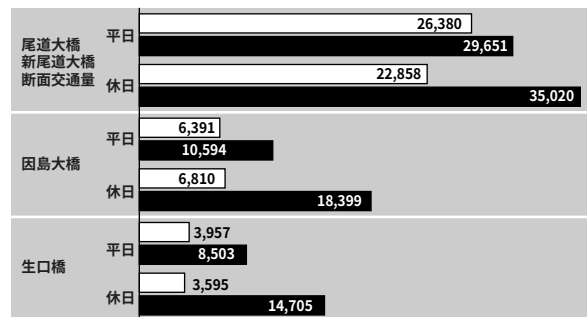
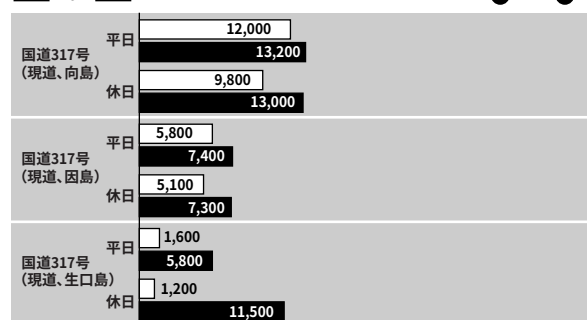
愛媛



注1) データは、H10・H11.5.1～5.31の利用者数の合計を日平均し、掲載。

●瀬戸内しまなみ海道開通による交通量の推移

□ H9 ■ H11



注1) H9は、センサスデータ

注2) H11は、平日6.2(水)・休日5.30(日)

台/日

